

秋になって

秋になって雨も上がって
涼しくなった 風も吹いてきた

ふとしたはずみ起こる感情
秋の心と書いた「愁（うれい）」が

さみしい気持ちと物悲しい気持ちが
何でもない僕でも詩人にさせる

今心の底に流れて消えてゆく
思いを捕まえようとしても
二、三度音をたてて
引いてく波のように
次第に小さくなってゆく

秋になって空も高く
薄くなった 雲を見つめる

ふとした時になんだか寂しい
気持ちになって思いにふける

何かを感じてセンチになる気持ちが
何でもない僕でも詩人にさせる

今心の底に流れて消えてゆく
思いを捕まえたところで
言葉にした後は
なんだか違うニュアンス
次第に変わってゆく